

# 指定管理者評価票

年度	令和3年度
担当部署	教育部 図書館 文化財担当

## 1 公の施設

施設名称	瑞穂町耕心館	
所在地	瑞穂町大字駒形富士山317番地1	
施設概要	敷地 3,230.17㎡ 建物 母屋461.86㎡ 事務所49.58㎡ 蔵65.52㎡ 母屋1階 和室、洋室、展示ギャラリー、くつろぎの間 母屋2階 多目的大広間、ステージ、控室	
設置年月日及び経過年数（導入時）	江戸時代末期(導入後13年経過)	

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	アクティオ株式会社			
	所在地	目黒区東山一丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階			
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受				

## 3 施設の利用状況

利用状況（量）を示す指標名	単位	指定期間中の実績					
		令和2年度	令和3年度				
① 利用者数	人	14,465	20,508				
② 喫茶利用者数	人	6,464	7,989				
③ 貸出日数	日	12	30				
④ 利用料収入	円	91	31				
⑤ その他収入	円	1,505	2,689				

## 4 指定管理者の収支状況

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度			
収入	指定管理料	41,513	41,772			
	利用料金収入	91	31			
	その他	1,505	2,689			
	計	43,109	44,492			
支出	支出	43,109	44,492			
	うち業務委託料	8,784	9,634			
	うち修繕費	509	686			
	うち人件費	19,143	18,831			

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

## 5 個別評価

評価項目		評価の着眼点	評価	
			管理者	担当課
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・ 条列で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	5
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	4	4
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	4	5
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・ 町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	5
アウトプット指標	利用者数の状況 (事業の活動量、活動実績)	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・ 利用者は事業計画どおりか (環境の変化など外部要因考慮) など 利用者の満足度を得られているか。 ・ 職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	5
	施設の稼働状況 (稼働日数・貸し出し日数)	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・ 施設の設置目的を達成しているか など	5	4
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・ 事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・ 営業努力の状況は認められるか など	5	4
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・ 経営状況は安定しているか など	2	3	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・ 利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	5
	利用者の満足度の状況	モニタリング (利用者の満足度) はどのようなことをおこなっているか。など	5	5
	積極的な施設の活用	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	4
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	5
総括	経費比較 (前指定末と指定後における町支出の比較)	町職員の関与は適切か ・ 経費の状況は適正か。など	3	5

## 6 指定管理者自己評価、意見等（一年間に活動した内容等）

個別評価	数
5	9
4	2
3	1
2	1
1	0

・感染防止対策のため演奏会や講座、イベントの参加定員を半数にし、中止することなく実施した。  
 ・PRの拡大として、Instagramの活用を開始した。  
 ・耕心館開館20周年記念イベントとして、企画展示や町民限定の無料コンサートを実施した。  
 ・「耕心館・けやき館関連事業 伝統農耕芸を探る」において、都立瑞穂農芸高等学校とのつながりを生かした関連企画を実施した。  
 ・2年ぶりに「瑞穂のつるし飾り」を開催した。感染防止対策の中の開催となり、一部規模を縮小した。瑞穂町コミュニティバスの運行が開始されたことを記念して会期中に往路の乗車チケットを無料で配布した。  
 ・企画展について郷土資料館との連携を増やし、関連イベントや展示作品を多くするなど、両館でより楽しんで頂けるよう工夫をした。  
 ・施設利用収入を増加させるPRが今後の課題である。

## 7 担当課の評価、意見等

個別評価	数
5	8
4	4
3	1
2	0
1	0

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、4月27日から5月31日までの期間で臨時休館となったものの、年間来館者数やサロンコンサート入場者数、レストランの売上げ等様々な指標で前年度を上回ることができた。各事業の参加人数に制限を設けるなどの感染防止対策を徹底した上で各種事業を実施したが、参加者からは「安心して参加することができた」など好意的な意見をいただいた。  
 都立瑞穂農芸高等学校や江戸東京野菜を生産している町内農家との連携や、耕心館ボランティアの方々との協働で2年振りに「瑞穂のつるし飾り」を開催するなど、関係者とも良好な関係を継続できている。また、郷土資料館と連携した企画展のほか、体験講座を郷土資料館で行うなど、同一の指定管理者であるメリットを活かした活動を行っている。  
 新たなPRの取り組みとして、Instagramの活用やコミュニティバスへの車内広告掲載などを行っている。  
 歴史のある建物であり細かな修繕が多く発生しているが、その都度町担当者と緊密に連絡調整を図りながら適切に施設の管理が行われている。

## 8 指定管理者選定委員会の評価、意見等

**記入欄**  
**【主な効果】**  
 緊急事態宣言の発出により、4月27日から5月31日までの期間で臨時休館となったものの、年間来館者数やサロンコンサート入場者数、レストランの売上げ等様々な指標で前年度を上回りました。また、新たにSNSの活用やコミュニティバスの車内広告などを行いました。  
**【主な指摘】**  
 郷土資料館との更なる連携や企画展の充実など、今後も建物の歴史的な価値と魅力を活かした運営や、町の公式キャラクター「みずほまる」活用の検討も期待します。